

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社西原商会関東相模原支店	階数	地上2F
建設地	相模原市緑区町屋1丁目3210-1	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	20人
気候区分		年間使用時間	1,760時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年11月 予定	評価の実施日	2015年3月16日
敷地面積	16,037 m ²	作成者	株式会社東条設計
建築面積	4,607 m ²	確認日	2015年3月16日
延床面積	5,462 m ²	確認者	株式会社東条設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	87%
③上記+②以外の	87%
④上記+	87%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	2.3
空気質環境	4.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.2
耐用性	3.0
対応性	3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物の	3.6
自然エネ	3.0
設備システ	4.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	2.2
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.5
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
相模原市開発事業基準条例を遵守し、相模原市街づくり活動推進条例の基本理念に適合した市民、開発者及び市相互が協働し、地域の特性に応じた魅力のある街の形成を実現する。具体的には、隣接する住居等に十分に配慮した環境を重視した計画を行うものとする。	0
Q1 室内環境 トイレなどの水廻りの間仕切り壁の遮音性を考慮した。	Q2 サービス性能 執務空間に関して機能に合わせた執務スペースの十分な確保と広い空間に合わせた快適性のある天井高を計画した。
Q3 室外環境(敷地内) 隣接する住居等に配慮した建物の配置や緑化を執り行う計画とする。(隣接する住居側の道路を視点場として本建物との間に植栽を設置する。)	
LR1 エネルギー 性能基準「PAL値」による評価による建物の熱負荷抑制を行う計画とする。	LR2 資源・マテリアル 鉄骨造とすることで躯体と仕上材が容易に分別できる構造とする。空調機のODP=0の冷媒のものを使用する。
	LR3 敷地外環境 相模原市開発事業基準条例に伴う指導された規模の流出抑制対策を行う。また、適切な量の駐車場の確保を行う計画とする。広告物照明を行っていない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される